

令和5年第2回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
倉橋博都 議員	1 通学路の安全について	(1) 子供たちの通学路にブロック壁が多く見られる。中には、傾いたり、ヒビが入っているのが見受けられるが点検が必要ではないか。	教育長
	2 観光案内及び集落名の看板設置について	(1) 観光客の方から、観光案内及び集落名の看板が少ないと意見が寄せられている。看板の設置は検討出来ないか。	町長
	3 嘉鈍集落の巨大ソテツについて	(1) 巨大ソテツが枯れかかっているが今後どのように考えているのか。	教育長
	4 野生シカ及び野生猪について	(1) 一匹当たりの駆除費を増額は出来ないか。 (2) 子供の野生シカも、親シカ同様の駆除費を出せないか。 (3) 野生猪は何頭位生息しているのか。	町長
良岡理一郎 議員	1 自然災害対策について	(1) 台風、地震、津波等の自然災害対策のこの間の到達点と今後の対策について伺う。 ① 公民館の雨戸設置、外トイレの解消。残された集落公民館名と今後の対策は何時までに終わらせるのか。また対応済とされる公民館でも諸事情で一部ガラス窓に雨戸未設置の施設もある。いつまでに雨戸を設置するのか。 ② 災害情報の住民への伝達について機器類の点検が必要ではないか。また災害終了時にはその旨を案内すべきである。 屋内、屋外の防災・行政無線のスピーカーや屋内受信機の点検。 ③ 海拔表示、特に避難実績もある産業道路への表示 ④ 地震・津波対策から海岸線集落の高台への避難訓練が必要である。現状と今後の計画を伺う。 (2) 無電柱化（電線の地中化）は令和元年12月から解決を求めているところだが、災害対策の観点からもまずは役場及び避難所周辺の無電柱化を検討すべきではないか。	町長
		2 新型コロナウイルス感染症について	(1) コロナは全体として落ち着いてきており、コロナ前の生活を取り戻しつつある。(5/21現在)しかし引き続き一定の緊張感をもった生活が求められる。そこで現状と今後の対策について伺う。 ① 3月～5月陽性者数（月別、男女別データ）。 ② 連休明け5/8から直近までの陽性者数。 (2) 5/8対策本部廃止後の感染状況の実態と評価。 (3) 今後のワクチン接種の計画。 (4) 感染症法上の5類へ位置づけが変更され、町民の受診抑制が懸念されるがこの間の実態は。

令和5年第2回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
良岡理一郎 議員	3 マイナカードおよびマイナ保険証について	(1) 直近のマイナカードの本町での交付枚数・交付率、及び国、県、の交付率について伺う。	町長
		(2) マイナ保険証について伺う。	
		① 本町の医療機関のオンライン資格確認システム(カードリーダー設置)の導入状況。	
		② マイナ保険証の医療機関での利用状況。	
4 教員の勤務実態について		(3) 全国的にはマイナカードをめぐって個人情報の流出などトラブルが頻発している。本町ではマイナカード、マイナ保険証でのトラブルは発生していないか。	教育長
		(1) 文科省は教員勤務実態調査の速報値を4月に公表した。一方、本町では小学校、中学校の毎年度超過勤務時間を集約している。以下伺う。	
		① 全国調査実態の特徴、本町調査実態の特徴。	
		② 教頭先生の超過勤務時間が多いとも聞く。その要因と対策は取られているのか。	
米田 信也 議員	1 空路、航路の離島割引制度の拡大について	(2) 従来、業務改善アクションプランが策定され、2021年度は超過勤務時間を上限45時間以内、教職員の8割以上が業務改善を実感できることを目標としたところであるが、結果を伺う。合わせて2023年度以降のアクションプランのポイントを示していただきたい。	町長
		(1) 現在、離島割引が利用できる条件は町内に住所を所有する事が条件であるが(例外として島外在住大学生)、サンゴ留学がスタートした今、留学生の親族等離島割引の対象者にする事について伺う。	
		(2) 誘致企業の会議等の為に来島する従業員への離島割引について伺う。	
2 雨天時の海への土砂流出による環境への影響について		(3) 人口減少を食い止めるために、喜界町出身者への離島割引の適用を検討出来ないか伺う。	町長
		(1) 土砂流出によるサンゴ礁への影響を調査する必要性について伺う。	
		(2) 海洋生物の影響についても調査、対応が必要と感じるが町としての見解を伺う。	
3 旧東部地区簡易水道について		(3) 残土流出の原因の一つとして沈砂池兼浸透池の設置場所、個数の調査をする必要があると思われるが町の見解を伺う。	町長
		(1) 東部浄水場の電気透析設備は島内浄水場の中で一番古く石灰処理能力が低いと思われるが町の対応を伺う。	
		(2) 配水池については、佐手久をはじめ東部地区の複数の集落の配水池が50年以上前に作られたコンクリート構造である。早期の建て替え及び浄水場からの直接配水に替える必要があると思われるが町の見解を伺う。	

令和5年第2回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
土岐 和貴 議 員	1 過疎化を食い止めるために新たな取り組みは	<p>令和5年第一回定例会で人口減少に向けての具体的な考えや対策等を質問した。その中で町長から人口構造の若返りに重点を置き、社会減少への取り組みを図りつつ、自然減少への取り組みも同時並行的に進めていくことで、人口規模の確保が必要と述べていた。</p> <p>(1) 企業誘致や働く場、担い手の創出を図るためにどのような戦略で取り組んでいるか。</p> <p>(2) 今後は交流人口を増やしていき、移住定住に繋げていく必要があるが、現在本町で行っている喜界町PR活動はどのような取り組みか。</p> <p>(3) 町長の施政方針の中で4つ目に大々的に掲げている「トップセールス」とあるが、今年度は本町独自のPRイベントはどれくらいを計画しているか。</p> <p>(4) 喜界町のPR動画がYouTubeでも120万回ほど再生されている。PR動画を公開した後と前で観光に訪れた比率は変わっているか。</p> <p>(5) 喜界町のPR動画を県内外の空港やSNS等を活用して宣伝していくことも必要ではないか。</p> <p>(6) 人口構造の若返りに重点を置くためにも、今後は次世代の考えなど10年後20年後のビジョンを共有する場、意見交換の場が必要だと考えるが、人口構造の具体的な内容を伺う。</p>	町 長
	2 観光ビジネス拠点について	<p>令和5年度一般会計当初予算にて企画観光課所管分で観光ビジネス拠点「KIKAI BASE」(旧荒木小)の運営経費等で新たに1,838千円計上された。</p> <p>(1) オープン予定が令和5年7月を目標としていたが、進捗状況を伺う。</p> <p>(2) 5つオフィスがある中で現時点でのサテライトオフィスの入居予定数は。</p> <p>(3) 年間を通してコワーキング施設の利用者数の目標値や料金設定について伺う。</p> <p>(4) 今後、委託事業者と行政との関わり方はどのようになっているのか。</p> <p>(5) 利用者を増やし認知してもらうためには宣伝活動や管理サイト(Webサイト)、情報発信が最も重要だと考えるが、取り組みや検討課題があるか伺う。</p> <p>(6) 長年愛されてきた廃校を活用していることも踏まえて、今後も地域の方々との定期的な情報共有が必要ではないか。</p>	町 長
	3 一般財源を増やしていくためには	<p>『ふるさとを応援したい』そんな気持ちを実現するために生まれたのが『ふるさと納税』制度である。喜界町では、皆様の温かい思いやりをまちづくりに生かすため、ふるさと納税を募集させて頂いている。今後も、喜界町はふるさと納税制度を最大限活用し、島の魅力・すばらしさを全国にPRしながら、喜界町の活性化に努めていくと本町のHPに掲載されている。</p> <p>(1) 【ふるさとチョイス】【楽天ふるさと納税】【さとふる】【ふるなび】【auPAYふるさと納税】を活用しているが、それぞれの利用状況や今後に向けて本町独自のふるさと納税PRサイトは考えているか。</p> <p>(2) 寄付金の活用内容等もわかりやすく見える化することで継続的なファンを増やしていけるのではないか。</p> <p>(3) 納税制度を最大限に活かしていくためには営業や宣伝など島外での活動が最も重要だと考えているが、現在の人員で対応できているのか。</p> <p>(4) 返礼品を通じて地域の名産品や産業を全国の方々知ってもらえる貴重な機会である。生産者と納税者の繋がりや出会いを活かしていくためには新たな取組が必要ではないか。</p>	町 長

令和5年第2回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
土岐 和貴 議 員	4 令和5年度新型コロナワクチン接種について	<p>新型コロナウイルス感染症は、第5類へ移行されたが、感染拡大及び重症化防止のため、本年度も引き続きワクチン接種を実施し、65歳以上の方及び基礎疾患を有する方は年2回の接種、その他の方は年1回の接種を予定している。厚労省では安全性と有効性に関する追跡調査の実態も明らかになっていない状態である。そして2000名以上の死亡報告事例があり現在観測されている過去最大規模の超過死亡との因果関係も否定できないと厚労省からの答弁もあった。</p> <p>(1) 第5類に移行し、感染報告もない中で本町においてワクチン接種が本当に必要なのか。</p> <p>(2) 感染拡大及び重症化防止とあるが本町で有効性の実績調査や副反応の実態調査は行っているか。</p> <p>(3) 特例扱いの新型コロナワクチンの有効性と安全性の分析調査も継続して行っていく必要があるのではないか。</p>	町 長
榮 優太 議 員	1 堆肥センターについて	<p>(1) 堆肥センター建設の事業計画及び進捗を伺う。(今後の事業計画など)。</p> <p>(2) 堆肥センター建設運営検討委員会は年に何回行っているか。委員の構成は。また運営検討委員会で課題点など議論されたと思うが伺う。</p> <p>(3) 令和4年度第一回定例会の答弁では検討中の堆肥の価格試算で町の財源負担が年間大体1600万から1900万との答弁があった。原料になる汚泥処理や生ゴミ処理また雑木等の処理費用がどれくらい減るのか。また町の財源負担がどれくらい変わったか。</p> <p>(4) 農家が求める堆肥の価格、堆肥散布価格など認知しているか。現段階での販売価格、散布価格は決まっているか。農家が求める価格にすると町の助成が増え財源負担も増えると思うがどのようにお考えか。</p> <p>(5) 堆肥場の作業工程は。攪拌機などの機械設備を入れる予定か。</p> <p>(6) 堆肥場建設工事総額予算はいくらぐらいを予定しているか。(重機、設備機械のみでいくらか)</p>	町 長
	2 子どもの学習支援について	<p>(1) 本町の不登校は現在何名いるか。不登校の定義に当てはまらない全ての長期欠席者は何名か。</p> <p>(2) 不登校の理由や登校したくてもできない理由など把握はしているか。また不登校をなくすために学校または教育委員会としてどのような事を行っているか。</p> <p>(3) 不登校や長期欠席者の学習支援はおこなっているか。(長期的に休むと学習が追い付かず更に学校に行けなくなる。行きたくなくなると思うが、どのような対応をしているか。)</p> <p>(4) フリースクールのような一人一人が自分にあった環境、学習支援も必要だと思うが如何か。町で立ち上げる事はできないか。</p>	教育長

令和5年第2回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
生島 常範 議 員	1 堆肥センターについて	<p>これまで何度も議論され、町民の関心や期待も大きい が、最大の関心は町民への販売価格である。</p> <p>(1) クリーンセンターの燃料費節減、最終処分場の延 命化、生ごみ、下水汚泥・雑木等の利活用でCO2削 減等脱炭素化推進や景観美化も期待できる。相対的 な費用対効果を算出し補助額を増やして利用しやす い価格設定が必要と思うが見解を伺う。</p> <p>(2) 令和4年度第1回定例会では「建設時期は令和6年 度ないし7年度を予定」との事だったが再度現時点で の進捗状況及び建設計画を伺う。</p>	町 長
	2 「きらりと輝く人づ くりとアカデミック な観光展開」につ いて	<p>「第6次喜界町総合振興計画」でも「特色ある地域資源 を活用し、地域住民が島の魅力を伝える仕組みづくりと 人材育成」を目指している。埋蔵文化、サンゴ礁文化同 様、無形文化財も貴重な地域資源である。</p> <p>(1) 今年に入り海外を含めたクルーズ船寄港は既に2 回(5月24日現在)。今後も増えることが期待される。出 番を創る事も支援につながるという視点から、歓迎セレ モニー等で文化財指定の八月踊りや棒踊り等もご披露頂 き、人づくりと観光振興を同時に図る仕組みが作れない か伺う。</p> <p>(2) 「奄美遺産」は巨樹、植物、年中行事など町内全 域を網羅した「シマの宝」一覧で、地域資源であ るが、当該集落民も知らない方が多い。もっと広 く周知し、保存・継承・拡散の気運を盛り上げて は如何か。</p> <p>(3) 「奄美遺産」の中に「上嘉鉄八月踊り」が「島の 唄と踊り」として平成28年度に指定されている。集 落民としてはこの上無い光栄だが、島内からは3年 に及んだコロナ禍と高齢者の引退等により継承の難 しさの声が聞こえてくる。人づくりと保存・継承の 気運醸成のため「喜界島の八月踊り」(喜界町全集 落)も指定できないか伺う。</p>	町 長 教育長